

主伐・再造林で利用される「天子ヶ岳線」の紹介

静岡県 富士農林事務所 森林整備課

林道「天子ヶ岳線」は富士山から西へ約 20km 離れた天子ヶ岳の南側斜面を東西に通る、富士宮市佐折と、山梨県との境に近い同市上稲子を結ぶ開設延長 4.5km、幅員 4.0m の管理道です。

県営工事として平成 25 年度に工事着手し、令和 2 年までに 2.0km の開設が完了しました。

林道の開設工事を進める一方で、隣接する森林所有者と森林経営計画の作成や土場の整備、既設作業道の改良等の連携を図り、天子ヶ岳線開設の翌年から間伐や主伐、再造林等に利用されています。

今後も主伐、再造林、保育、間伐等の施業のための利用が見込まれることに加え、シカの捕獲を行う狩猟者による林道利用も多く、地域の関心が大変高い路線です。

災害に強く、安全で利用しやすい林道設計に努め、地域林業関係者の期待に応える林道の開設を目指していきます。



初夏を迎える再造林地の奥には雪を残す富士山



特徴的な尖った山頂の天子ヶ岳を南北に通る



位置図

